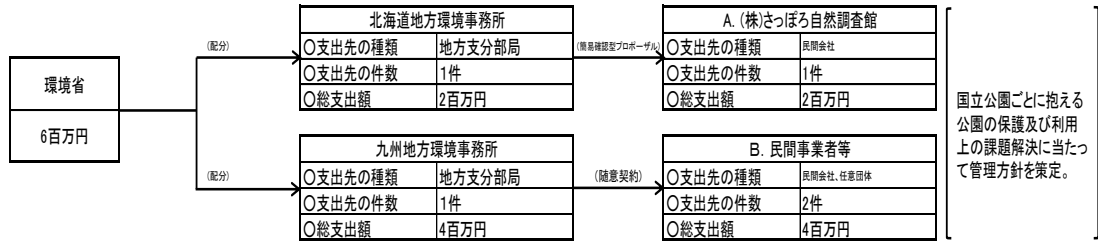


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国立公園管理計画等策定調査費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	国立公園課		課長 鳥居 敏男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第2・3項、第20条第3項、第21条第3項		関係する計画、通知等	国立公園管理計画作成要領(平成18年4月20日 環境省自然環境局通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園を取り巻く自然条件、社会条件は多種多様であるため、一つの国立公園であっても、地域毎に様々な保護又は利用上の課題を抱えている。このため各国立公園を地域区分し(管理計画区)、それぞれの自然的社会的条件を踏まえ、検討会により地域の合意を形成しながら、風致景観の保護と適正な利用を推進するために必要な事項やその具体的な取扱方針、許認可の基準等について定めた「管理計画」や個別の問題点ごとにその解決のための「管理方針」を作成する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年度は、小笠原国立公園など合計14地区において管理計画の策定作業、屋久島地区の分離独立により再編された霧島錦江湾国立公園など合計3地区において管理方針検討調査を実施した。 平成25年度は、上信越高原国立公園など合計15地区において管理計画の策定作業、足摺宇和海国立公園宇和海地域等の合計3地区において管理方針検討調査を実施予定。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	13	13	9	7	19	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	13	13	9	7	19		
	執行額	10	11	6				
執行率(%)	83	84	67					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	適切な管理計画等の策定により公園の管理の質を高める。 公園ごとに自然的・社会的状況が異なることから、定量的に目標値を定めることはできない。			成果実績	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	年間10数地区において管理計画、管理方針を策定			活動実績(当初見込み)	19 (14)	11 (12)	12 (15)	- (15)
単位当たりコスト	活動実績としては上記のとおりであるが、本計画、方針の策定は、課題等を踏まえ検討を行いながら策定することを目的としており、単位当たりのコストを算出するのはなじまない。		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.9	0.7	既存事業部分については、事業を効率的に実施するように努めることとし、概算要求額を減額するとともに、新たな国立公園管理システム構築の実現を目指した取組を実施するため、事業を拡充した。				
	委員等旅費	0.7	0.5					
	国立公園等調査管理委託費	5.4	4					
	環境保全調査費	0	14.3					
	計	7	19					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立公園の管理計画、管理方針を策定するものであり、国が実施をしている。国立公園の管理は自然公園法に基づき環境大臣が行うものであり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定するなど、選定方法は適正であり、最も効率的な方法で事業を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	成果物に基づき、国立公園の管理が適切に行われており、また、策定した成果物は公表されることから十分に活用されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検結果	本事業は、自然公園法に基づき、各国立公園における許可基準の細部の取り扱い等について、国として作成しているもので、国立公園の円滑な管理のみならず国民に必要な事項を示すことができるため、事業を継続して実施する必要がある。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	308	平成23年	191	平成24年	199

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)さっぽろ自然調査館			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	技師等	1.89			
委員等旅費		0.09			
諸謝金		0.03			
計		2.01	計		0
B.日本工営(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	1.87			
印刷製本費	印刷製本費、会議費、一般管理費等	0.81			
旅費	打合せ、委員会、検討会委員旅費	0.48			
消費税		0.16			
諸謝金	検討会委員謝金	0.06			
宿泊費	検討会委員宿泊費	0.01			
計		3.38	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)さっぽろ自然調査館	平成24年度苔の洞門周辺地域保全のあり方調査(管理方針検討)委託業務	2	熊島公葬型ロボーザル	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本工営(株)	平成24年度霧島錦江湾国立公園霧島地域における管理方針検討委託業務	3	企画競争	-
2	仁田峠パーク&ライド実証実験実行委員会	平成24年度雲仙温泉・仁田峠自動車利用適正化方針検討調査委託業務	1	少額随契	-